

第4号様式（第10条関係）

会 議 録（要 旨）

会 議 名	平成30年度第1回武蔵村山市介護保険運営協議会
開 催 日 時	平成30年6月28日（木） 18時～18時45分
開 催 場 所	市民総合センター3階 小会議室
出 席 者 及 び 欠 席 者	出席者： 倉持委員、小関委員、安部委員、奥下委員、五十嵐委員、田中委員、大橋委員 （事務局） 高齢・障害担当部長、高齢福祉課長、高齢福祉係長、介護認定係長、介護給付係長、管理係長、管理係主任 欠席者： 河西委員、吉野委員、加園委員、高橋委員 傍聴者： 0名
議 題	協議事項1 地域密着型サービス事業所の指定について 協議事項2 定期巡回・随時対応型訪問介護看護運営事業者の公募について 協議事項3 その他
結 論 （決定した方針、残された問題点、保留事項等を記載する。）	協議事項1 地域密着型通所介護サービス事業所の新規指定について承認することとなった。 協議事項2 定期巡回・随時対応型訪問介護看護運営事業者の公募について承認することとなった。
審 議 経 過 （主な意見等を原則として発言順に記載し、同一内容は一つにまとめる。）	開 会 《協議事項1 地域密着型サービス事業所の指定について》 事務局：（協議事項1について説明） 会 長：質疑等あるか。 委 員：質疑なし 会 長：では、地域密着型通所介護サービス事業所の新規指定について、承認するということが良いか。 委 員：異議なし 《協議事項2 定期巡回・随時対応型訪問介護看護運営事業者の公募について》 事務局：（協議事項2について説明） 委 員：今年度改めて公募を行うとのことだが、応募がなかった理由は何が考えられるのか。 事務局：市内事業所のいくつかに聞いてみたところ、採算性の部分で二の足を踏むとのこと。ニーズが見えないとの意見があった。 委 員：「PRを工夫」というよりは、事業が継続できるよう支援をしたほうが良いのでは。このサービスは人件費がかかるのでそのための補助や、補助金を出しても最初の1年だけでなく、2～3年継続で補助を続ける等をしないと応募は難しいかもしれな

	<p>い。</p> <p>事務局：運営費補助に充てられる都の補助金がない。行うとしても一般財源で行うことになるので、財政的にハードルが上がる。</p> <p>会 長：ほかに質疑はあるか。なければ、定期巡回・随時対応型訪問介護看護運営事業者の公募について承認するという事で良いか。</p> <p>委 員：異議なし</p> <p>《協議事項3 その他》</p> <p>事務局：1点目。現在、武蔵村山市社会福祉協議会が行っている高齢者在宅サービスセンターの運営について、平成30年度末で廃止を予定している。市内通所介護事業所は地域密着型を含め15か所あり、それぞれの事業所についても待機者がいない状態である。指定管理期間の満了に伴い廃止する予定である。</p> <p>委 員：以前通所介護事業所が突然廃止され困った経験がある。利用者が困ることがないように、よく指導してほしい。</p> <p>事務局：廃止までの間に、利用者が切れ目なくサービスを受けられるよう指導している。</p> <p>会 長：利用者の立場でフォローが必要である。</p> <p>事務局：2点目。計画書内で修正が必要な部分があった。ホームページや閲覧用の計画書等については訂正が完了している。お詫びして訂正する。</p> <p>終 了</p>
--	--

会議の公開・非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開 ※一部公開又は非公開とした理由 ()	傍聴者： 0 人
-------------	---	----------

会議録の開示・非開示の別	<input checked="" type="checkbox"/> 開示 <input type="checkbox"/> 一部開示（根拠法令等：) <input type="checkbox"/> 非開示（根拠法令等：)
--------------	---

庶務担当課	健康福祉部高齢福祉課（内線：632）
-------	--------------------

（日本工業規格A列4番）